

## 学位論文審査結果の要旨

所 属	岐阜聖徳学園大学大学院 経済情報研究科 博士課程（後期）
論文提出者	田畑 恒平
論文題目	先進コンテンツ技術を用いた地域活性化の主体に求められるスペックに関する検討
審査委員	(主査) 伊藤 敏 (副査) 伊藤 薫 (副査) 高橋 友和

### 【論文審査結果の要旨】

田畑恒平氏の論文は学術的有意義性が十分な説得力を持って説明されたと認められ、博士論文審査に合格と判定する。

本論文では、新しいテクノロジーや先進的な取り組みによってコンテンツ化された地域資源を地域活性化に活かすには、活性化に取り組む主体にはどのようなスペックが必要なかを明らかにするテーマが掲げられた。そのため、3つの研究課題が設定された。1つめは、従来型の地域活性化の取り組みを5地域について調査してスペックが抽出された。2つめは、先進コンテンツを利用した地域活性化の取り組みを3地域について調査しスペックが抽出された。3つめは、地域活性化の新しい取り組みを1地域に関して調査し、スペックが抽出された。これらにより、新しいテクノロジーや先進的取り組みを地域活性化に活かすのに必要な主体のスペックが抽出された。地域活性化の主体が持つべきスペックの検討、はいくつかの先行研究はあるものの系統だった整理はなされていなかったため、本論文にはオリジナリティがあると認められる。

以上に加えて、社会的意義から考えると、空間的広がり観点では、全国の地域共通の課題に取り組んだことがある。特に先進コンテンツを用いた地域活性化はすでに各地で取り組まれているため、スペックの整理は意義が高い。また、時間的広がり観点では、先進コンテンツの発達は急速であり、今後もさらに一層発達するであろう。21世紀を通じて、先進コンテンツを取り扱う観点に立ったスペックの整理は意義が高いと考えられる。